

## 会 議 録 (要旨)

会 議 名	第 17 回瑞穂町行政評価委員会
開 催 日 時	平成 31 年 4 月 25 日 (木) 午前 10 時から午前 10 時 45 分まで
開 催 場 所	瑞穂町役場本庁舎 3 階委員会室
出席者及び 欠 席 者	(行政評価委員) 出席者：石川委員、伊藤委員、木村委員、栗原委員、小山委員、佐藤委員、 中村委員 欠席者：小池委員、平山委員 瑞穂町：杉浦町長、福井企画部長 事務局：宮坂企画課長、工藤企画係長、企画係吉岡
報 告 事 項	なし
議 題	1 正副委員長の互選 2 分科会の所属について 3 その他
傍 聴 者	なし
審 議 経 過  (主な意見等 を原則として 発言順に記 載。同一内容 は一つにまと めた。)	日程 1 開会 宮坂企画課長により会議の公開についての説明が行われ、会議が進められた。 日程 2 町長挨拶 日程 3 委嘱状交付 杉浦町長から代表委員へ (50 音順で石川委員 1 名)  日程 4 議題 宮坂企画課長により会議の成立、会議時間、会議資料についての説明が行われた。  議題 (1) 「正副委員長の互選」 立候補者がいなかったため事務局より推薦させていただき、委員長を小山委員に、副委員長を小山委員長の推薦により平山委員にお願いすることで決定した。  (小山委員長) 挨拶  ここからは小山委員長により議事が進められた。 ○事務局から説明 企画係長が議題 (2) に入る前に、行政評価委員会の概要、行政評価委員会と 2 つの分科会の今後の開催予定などについて説明した。  議題 (2) 「分科会の所属について」 ○事務局から説明

企画係長が事前に実施した分科会の所属の希望調査結果に基づき、事務局の案を示した。行政改革推進分科会には、石川委員、伊藤委員、小山委員、中村委員。補助金等審査分科会には、木村委員、栗原委員、小池委員、佐藤委員、平山委員。

(小山委員長) ご意見等がないので、分科会の所属については、事務局から説明のとおり決定する。

### 議題 (3) 「その他」

#### ○事務局から説明

企画課長が平成31年度瑞穂町予算概要の説明をした。

(宮坂企画課長) 資料では(案)となっているが、予算は確定しているため(案)は削除願う。

(栗原委員) 道路ストック点検とはどういったものか。

(宮坂企画課長) 道路の路盤の損耗状況、耐久年数等を調べ、その情報を管理し、補修の順位付けを行う。

(中村委員) 長期総合計画策定業務委託はどこに委託をするのか。

(宮坂企画課長) これからプロポーザル方式で決定する予定である。

(伊藤委員) 道路ストック点検は5年毎とあるが、町職員ではできないものなのか。

(宮坂企画課長) 路盤の構造がどうなっているか等、専門家でないと調べられないものである。

(石川委員) 子供食堂推進事業補助金とあるが、現在何か所あるのか。

(宮坂企画課長) 武蔵野地区に1か所だと聴いている。

(木村委員) 広報紙の編集業務がアウトソーシングされるとのことだが、今の紙面が全面リニューアルとなるのか。

(宮坂企画課長) 広報みずほ発行にあたり、担当職員が夜遅くまで編集作業をしないと追いつかなく、また、異動があるとその技術を一から学ばなければいけない状況が続いていたため、広報部局でアウトソーシングの検討が進められていた。現在も数ページは外部発注をしている部分もあるが、これをもっと広くお願いし、職員は編集に要していた時間を取材に時間を充てるようになる。紙面上は大きな変更は無いと見込んでいるが、プロのデザイン力が加わり見やすいものとなっていくと考えている。

(伊藤委員) トイレの改修について予定はあるか。

(宮坂企画課長) 予算や補助金の関係もあるが、バリアフリー化等について順次進めていく方針であると考えている。

(中村委員) 福祉バスについて、今後の方針は。

(宮坂企画課長) 平成30年度に公共交通に関するアンケートを行い、課題抽出を行ったところである。今年度、調査結果を基に交通施策について

検討をしているところであり、今年度及び来年度で策定する長期総合計画にリンクして今後の方針を定めていく。

(小山委員長) 現在箱根ヶ崎駅では、駅員がいない時間帯がある。これはサービスの低下となるので、職員が常駐するよう要請をしていただきたい。

(宮坂企画課長) 全国の JR の駅の駅員配置の流れとしては無人化が進んでいるようであるが、瑞穂町には高校もあり、企業もたくさんあるので、住民の方々に負担を強いられていると感じている。皆さまの意見を秘書広報課を通じて伝えていきたいと考えている。

閉会 午前10時45分